

9月 0歳のひろば

朝晩やっと涼しくなり、少し秋が近づいてきたように感じます。耳を澄ますと、外からは秋の虫の声が聴こえてきます。残暑の厳しさから夏の疲れが残っていることもあれば、気管支の弱い子やアレルギー体質の子は季節の変わり目がつらい時期でもあります。体調の変化に気を配りましょう。



赤ちゃんのいたずら

誕生から、目が見えるようになり、首すわり・寝返り・お座り、そしてハイハイから立っちへと、一年あまりの間に劇的に発育・発達する赤ちゃん。目に見えて変化を実感できるこの時期は、成長を手放して喜べる時期ではないでしょうか。

その反面、成長とともに赤ちゃんの動きが広がると、ママの大変さも倍増、体力勝負になってきます。ハイハイや立っちができるようになると、赤ちゃんの視界が広がり世界も広がります。まわりにあるものすべてがめずらしくて、これ何だろう、まずはさわって、なめて、たたいて、放り投げて、好奇心が満足するまで、あれこれ確かめます。これを、探索行動と言います。

大人から見れば困ってしまういたずらに思うことがあるかもしれませんが、おもいっきり探検・冒険をさせてあげたいものです。もちろん危険な行動はストップをかけなければいけませんが、「だめ」を最小限にとどめるために、危ないものや触られて困るものは、日ごろから手の届かないところへ移し、部屋の中を赤ちゃんの目の高さでチェックしてみましょう。

昨日できなかったことが、今日できることもあり、日々驚かされますね。



パパも出番です。シリーズ4

一般的に赤ちゃんはママが大好き！生後8か月くらいになると、ママの姿が見えなくなったとたん大泣きする赤ちゃんもいます。「もう会えない」という不安からだといわれています。こんな時は、「大丈夫！パパがいるよ」と優しく声かけながら抱っこしてあげましょう。

また、1歳を過ぎると「ママでなければ（おむつ替えやお風呂など）だめ！」という時期がくる場合もあります。こんな時でも、あきらめずに赤ちゃんの様子をみながら無理なく関わってみましょう。

きっとパパの気持ちが伝わると
思います



この本読んでみて



「じんせい さいしょの」

作：おおの たろう

赤ちゃんは、毎日が「はじめて」の連続
赤ちゃんのしぐさをよくみていると、この
本の面白さがわかり、共感してうなずく
ことができます。

一人でニヤニヤしちゃうかも！



次回は、

10月10日(金)
ふれあい遊びと
布遊び

このQRコードで
9月12日から受付開始



令和7年9月発行

庄内町子育て支援センター こころ
電話 0234-42-2268

*ひろばの活動中に記録用として、写真を撮らせていただきます。